

Syllabus Id	Syl-070-262
Subject Id	Sub-070-403802
更新履歴	2006.01.12 新規, 2006.01.19, 2007.03.14 改訂
授業科目名	工業英語 English for Engineers
担当教員名	藤尾三紀夫 FUJIO Mikio
対象クラス	制御情報工学科5年生
単位数	1学修単位
必修/選択	必修
開講時期	前期
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	制御情報工学科棟 コンピュータ演習室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

産業活動のグローバル化に伴い、技術情報の交流やコミュニケーションの手段として工業英語の正しい理解と活用が学界ならびに産業界において必須のものとなっている。本講義は、工業英語の実践力の向上を目標として演習を主体に進め、受講生に文部科学省認定工業英検 2,3,4 級の取得を奨励する。

また、3級取得を目標とし、毎回3級試験の過去の問題を小テストとして実施する。受講生は、教科書または e-learning を用いて自学自習する必要がある。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

5 学年までの英文法、英単語力、工業英語単語力ならびに機械工学、電気電子工学、化学、情報工学の基礎知識

学習・教育目標	重み	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力を身につける。			

学習・教育目標の達成度検査	
	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
	2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
	3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 機械工学、電気電子工学、情報工学の基本的内容を説明している英文を正しく和訳できる。
2. 機械工学、電気電子工学、情報工学に関する内容の一つの文章からなる和文を正しく英訳できる。
3. 工業英検 3 級が取得できる。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	
第2回	3級試験の演習	第60回工業英検3級問題	
第3回		第59回工業英検3級問題	
第4回		第58回工業英検3級問題	
第5回		第57回工業英検3級問題	
第6回		第56回工業英検3級問題	

第7回	前期中間試験	理解度チェック	×
第8回		第55回工業英検3級問題	
第9回		第54回工業英検3級問題	
第10回		第53回工業英検3級問題	
第11回		第52回工業英検3級問題	
第12回		第51回工業英検3級問題	
第13回		第50回工業英検3級問題	
第14回		第49回工業英検3級問題	
第15回	前期末試験	理解度チェック	×
課題とオフィスアワー 課題： 毎回工業英検3級の小テストを行うため、e-learningシステムを利用して、自宅での学習すること オフィスアワー： 水曜日16:20～17:15			
評価方法と基準 評価方法 1.機械工学、電気電子工学、情報工学の基本的内容を説明している英文を正しく和訳する力がついたかどうかを講義中の演習と試験で確認する。 2.工業英検3級程度のリーディング、ライティングの力がついたかどうかを講義中の演習と試験で確認する。			
評価基準 前期試験30%、前期末試験30%、小テストの結果40%			
教科書等	文部科学省認定 工業英検3級問題集 (社)日本工業英語協会		
先修科目	4学年までの総合英語、工業英語、専門科目の基礎知識		
関連サイトのURL	e-learning URL [http://blackb.numazu-ct.ac.jp/bin/index.pl]		
授業アンケートへの対応	e-learningの誤植を修正する		
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		